

## ■提出された意見の概要と市の考え方

No	意見の概要	市の考え方
1	<p>将来像の「おどる街 つながる笑顔 水都とくしま」の「つながる笑顔」のイメージが静的で、なんかつまらなそうな気がする。</p> <p>それは、つながるが自動詞で主語は笑顔になり、市民が主語にならないためと思われるが、「笑顔あふれる」とすると少し明るくなる。</p> <p>市民を主体で考えるなら、「笑顔つないで」とか「笑顔つなごう！」のように他動詞の方がよいと思うが、私は、「笑顔いっぱい！」が、明るくなるような気がして好きです。</p> <p>「おどる街 笑顔いっぱい！ 水都とくしま」いかがでしょう。</p>	<p>将来像の「つながる笑顔」というフレーズは、基本理念に掲げた持続性や幸福度の視点を踏まえて設定したものです。</p> <p>今後、人口減少による経済規模の縮小や災害に対する不安感の高まりなどが危惧される中であっても、その場しのぎではなく、将来をしっかりと見据えた施策を推進し、未来へと今日の笑顔がつながるまちづくりを進めることが重要であることを表しています。</p> <p>また、語順については、様々な意見があるかと思いますが、将来像はまちの状態を表すものであるため、原案のとおりとさせていただきます。</p>
2	<p>まちづくりの土台となるものは人的財産の形成であり、その量や質の向上なくしてまちづくりは推進できないと考えます。</p> <p>市民ひとりひとりが持っている能力を開花させるなど、多様な力を身に付け、積極的に物事へ取り組んでいく態度なども養成し、全国の先進レベルに到達して、優れた徳島市に生まれ変わることが欠かせませんが、素案にはそうした明確な言及がありません。</p> <p>徳島市民として、例えば、文化の大きな立ち遅れや弱小なスポーツレベルの解消を図るなど、市民の意識改革を土台に据え、その土台づくりを進めながら、基本理念へのアプローチが推進されるべきではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、まちづくりの土台は人であり、そのための施策を展開することは非常に重要であると認識しています。そのため、新たな計画では、政策5「こどもまんなか社会の推進」において、次世代を担う子ども達の健全育成に取り組む方針を掲げています。</p> <p>また、ライフスタイルや価値観の多様化が進む中で、一人ひとりが生きがいを持ち、生涯にわたって自分らしく活躍できる社会を形成することが重要であるため、政策6「誰もが活躍できる場の提供」を計画に位置付けました。</p> <p>今後、これら政策の推進を通じて、学校教育のみに留まらず、文化やスポーツ、コミュニティなど、多様な場面で活躍できる人材育成に取り組んでまいります。</p>

No	意見の概要	市の考え方
3	<p>施策 01「コンパクトで機能的なまちづくり」のKPIに「市バスの一日平均乗車人員」があり、目標値が「8,091人以上」と現状維持になっている。</p> <p>しかし、先日「今年4月から市バスを大幅減便する。ただ利便性は損なわれない」との報道があった。</p> <p>ということは、市バスの乗客は徳島バスに流れることを想定していると思われ、またこの流れは今後進められると想定されることから、「市バスの一日平均乗車人員」よりも、徳島バスの乗客も含めた「路線バスの一日平均乗車人員」とした方がいいのではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、施策01「コンパクトで機能的なまちづくり」のKPIとして、徳島バスの乗客も含めた「路線バスの一日平均乗車人員」は、市域における公共交通の動向を確認するための一つの指標になるものと認識しております。</p> <p>しかしながら、徳島バスは、複数の市町村にまたがる広域的・幹線的な公共交通であり、市の施策を展開するうえで、その取組を評価・改善していくためには、市内交通の指標である「市バスの一日平均乗車人員」が適当であるものと考えています。</p>
4	<p>ランドマーク施設に徳島城博物館を加えるべき。</p>	<p>ランドマーク施設については、中心市街地における集客の核となる来館者数の多い施設を設定しています。</p> <p>令和5年度の来館者は、アミコビルの約270万人、阿波おどり会館の約53万人に対して、徳島城博物館は約4万人となっており、施設の規模が異なりますので、原案のままとさせていただきます。</p>
5	<p>アミコビル来館者数を増やす為の具体策がない。例えば子育て世代に人気でJR四国も取り組む日本最大のコンテンツであるアンパンマンの施設や徳島ラーメン村の設置などインバウンド客の取り込み施策を設けた方がよい。</p>	<p>アミコビルについては、徳島駅前のランドマーク施設として三越徳島をはじめとする商業テナント、複数のオフィス、及び市立図書館等の多様な公共施設があります。これらテナントや施設等をより多くの方に利用していただけるよう、今後もアミコビルを管理運営する徳島都市開発株式会社との連携を密にしていきます。</p>
6	<p>地域公共交通の再構築について市バスのデザインがよくない。また交通局の用地は万代ふ頭に隣接することから、まちづくり用地として有効活用し、交通局は東環状線の高架下などに移設すべき。</p>	<p>市バス車体のカラーリング等につきましては、路線バス運行事業者及び関係機関と協議・連携の上、市民の皆様への周知状況等を考慮し、長く親しまれてきたものを採用しております。</p> <p>また、交通局は令和10年度末に廃止する方針となっており、交通局廃止後の用地の活用につきましては、関係機関等と検討していきたいと考えております。</p>

No	意見の概要	市の考え方
7	<p>地域公共交通の再構築にＪＲ四国等既存鉄道が明記されていない。府中駅や吉成駅は簡易な駅舎となっており地域住民は不便をきたしていることから、民間企業と地域住民、ＪＲ四国を結び付けて駅舎の再設置や周辺整備を行なうべき。</p>	<p>簡易駅舎への建替えについては、ＪＲ四国の経営判断によるものであると考えていますが、府中駅については、本計画の施策 01「コンパクトで機能的なまちづくり」に関連する徳島市立地適正化計画において、地域都市機能誘導区域に設定しており、既存鉄道を生かし、駅周辺において、生活サービス施設の維持・充実を図り、地域の暮らしを支える拠点目指すこととしています。</p>
8	<p>地域公共交通の再構築について、市バス・徳バス・高速バスを駅前広場から移転し、ミント神戸などを参考に集約化したバスターミナルを整備すべき。用地候補はポッポ街北ＪＲ用地や駅北側、または高架下活用とする。</p>	<p>「徳島市地域公共交通計画」では、市バスや徳島バスを含む路線バスの利用環境向上を図るため、関係機関と連携しながら徳島駅前バスターミナルの再編に取り組むこととしております。</p> <p>また、「徳島駅周辺まちづくり計画」では、鉄道の高架化を図りつつ、駅前広場の交通施設と歩行者空間の配置を見直し、公共交通利用者が分かりやすく利用できる駅前空間へと再整備していきたいと考えております。</p> <p>ご提案のありました参考事例では、バスターミナルに商業施設を併設し立体的に整備されたものや、高架下を有効活用した事例であり、徳島駅周辺の整備を具体的に検討する際には参考とさせていただきます。</p>
9	<p>都市公園などのストック向上について、民間の力を取り入れ店舗等の設置の項目を追記すべき。既に天王寺公園や高松中央公園など全国でも取り組まれている。</p>	<p>都市公園における民間活力の導入については、公園の利用価値の向上や持続可能な運営を図る上での重要な取り組みであるとと考えています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後、取り組みを推進していく上での参考にさせていただきます。</p>
10	<p>眉山の再整備について、具体性がなさすぎるし、もう何十年も議論されているが進んでいない。四国有数の夜景スポットである魅力が活かされておらずバリアフリーも不十分。テレビ塔の周りを遊歩道で立体的に散策できる施設を設けてはどうか。</p>	<p>眉山公園の再整備については、本年度、有識者会議や市民参加型ワークショップを開催し、「眉山活性化基本方針」の策定に取り組んでいるところです。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、方針策定の上での参考にさせていただきます。</p>

No	意見の概要	市の考え方
11	<p>緑化推進事業への参加者数促進について、緑化だけでなく花も項目にあげ、進んだガーデンニングの要素で民間企業も取り込み花と緑であふれた都市空間を目指すべき。</p>	<p>緑化推進事業には地域団体等への花苗植栽の助成なども含まれており、市民協働による花と緑のまちづくりも織り込まれているところです。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後、取り組みを推進していく上での参考にさせていただきます。</p>
12	<p>市内の各マルシェを通じ、市内産の農水産品のPRやニッチな食材（欧米料理使用輸入野菜等）の生産を奨励してはどうか。また、徳島市や県産食材を使った新メニューのコンテストを実施するなど、徳島の名物料理を作り、もっと普及させるべき。</p>	<p>徳島市における多様な農産物の生産と複合経営という特性を活かし、農業者の所得向上を目指し、農産物の産地化やブランド化、販路拡大などの取組を推進します。</p> <p>また、生産者と消費者の交流の場を積極的に設けることで、農業の多様な役割について市民の理解と支援を得ていくため、農業者と消費者との「顔が見える」関係づくりも進め、農産物の直売所や観光資源との連携を推進していきます。さらに、県産食材を使ったとくしまIPPIN店の紹介など地元農産物のPRに推進していきます。</p>
13	<p>魅力的な商業地形成について、せっかく徳島空港を通じたインバウンド客の来訪が始まっているのにアミコや商店街に呼び込めていない。観光ルートに入れてもらったり、こうした海外顧客に対応できる人材づくりを商工会議所も巻き込んで早急に取り組むべき。</p>	<p>海外の方向けの新たな魅力的なコンテンツ等の創出など、ソフト面の充実に向けて、関係各所と連携し、取り組んでいきたいと思えます。</p>
14	<p>中央市場機能拡充について、大阪や神戸、高松、福岡の先進事例を参考に市民や観光客も利用できる市場づくりが必要。</p> <p>民間市場ではあるが四国の県庁所在地では珍しい中洲市場も徳島市の魅力の一つであり再構築の支援を行うべき。</p>	<p>中央卸売市場の再整備については、生鮮食料品の流通拠点としての重要な役割を担っていくため、市場機能の充実・向上を図ることが第一ですが、ご意見のとおり、市民や観光客も利用できる「にぎわい機能」についても、今後しっかりと検討してまいります。</p> <p>中洲市場の整備等については、事業者の判断において行われるものと考えていますが、ご意見のとおり、中心市街地に立地する徳島市の魅力の一つでありますので、今後の動向に注視していきたいと考えています。</p>

No	意見の概要	市の考え方
15	市街地出店支援事業について、改装費の補助だけにとどまらず、店舗デザインや購買需要等のセミナー支援や事業継承マッチング、金融機関の新規開業支援などのサービス紹介などをワンストップで行なう機関を官民で設けるべき。	<p>現在、徳島市ではアミコビル9階で（一社）徳島県中小企業診断士会に業務を委託し、無料経営相談会を毎月定期的に開催しています。</p> <p>内容については、経営のことだけではなく新規開業に対する補助金やセミナーの紹介など、様々な情報提供を行っておりますが、いただいた意見を参考に相談機能の充実を図るよう努めていきます。</p>
16	市場施設整備事業について、マリンピアや津田への移転も視野に、福岡や高松のように漁船が直接乗り入れできる港を市場内に設け、他県の水産物市場での取り扱いも増やすべき。	<p>ご意見いただきました事項については、出荷者・市場関係者にとって、利便性の向上等に繋がるものであると認識しています。</p> <p>建設場所の選定は、市場整備の根幹となる重要事項であることから、市場関係者及び関係機関等と慎重に検討してまいります。</p>
17	働く環境づくりについて、工場や企業誘致だけでなく、現在ある企業について魅力ある職場環境である事が大事。現在はフリーアドレス等が当たり前の時代で、デザインを重視したオフィスや工場が全国的に主流となつつある。こうしたオフィス環境の改善にも徳島市は取り組むべき。	<p>徳島市では、徳島市ダイバーシティ経営企業応援事業を実施しており、その中で、職員の特性に配慮した、オフィス等の職場環境の改善に向けた取組への支援を行っております。</p> <p>引き続き、徳島市ダイバーシティ経営企業応援事業を軸に、今回いただいたご意見や他市の施策等を参考にしながら、更なるオフィス環境の改善に向け、事業のブラッシュアップに努めてまいります。</p>
18	コンベンションの誘致推進について、県のアスティだけでなく建て替えるまでの間、既存市立体育館（プロレスだけでなく）の活用、大学や高校等の施設、近隣市町村の施設も情報を一元化し、徳島市が中心的な役割を担いながらオール徳島の団体戦で誘致を図るべき。蔵本球場や田宮陸上競技場も催しには利用できる。	<p>本計画において既存の施設を有効利用するために近隣市町村との連携を図りながらコンベンション誘致支援に取り組んでまいります。</p>

No	意見の概要	市の考え方
19	<p>旧みずほ銀行や旧百十四銀行、市所管の三河家住宅等が他都市と比べまったく生かされていない。アスベスト問題が提起されていたが、全国ではそうした課題をクリアし、洋風建築を観光や産業拠点として再生されている事から取り組むべき。</p>	<p>現在、重要文化財三河家住宅は建物の老朽化により公開を制限しています。今後は保存修理をしたのち一般公開を検討しており、修理に向けた取り組みを進めています。</p> <p>なお、施設の利活用をご提案いただいている金融機関の建築物については、民間所有のものであるため、本市が当該施設を利活用できません。現在、実施している中心市街地出店支援事業などの取組を通じて、引き続き、空き店舗の活用を支援していきたいと考えています。</p>
20	<p>市内にあるホテルや民間の温泉・浴場の手形や御朱印スタンプのようなものを設けて、スタンプがたまると景品を出すなどの工夫も面白いと思う。</p>	<p>中心市街地の活性化を図るためににぎわいづくりのイベントの開催などを検討してまいります。</p>
21	<p>中央公園が生かせていない。お城の復元について県や文化庁と協力してできる所から実施すべき。こうした復元には文化庁の基準緩和（令和2年）を活用して新たな観光シンボルづくりを行なうべき。</p>	<p>徳島城の復元については、文化庁の許可が必要となります。令和2年に文化庁が出した復元基準を勘案しても、現段階で写真・図面等の復元根拠資料がほぼ残されていない徳島城の建物の復元を進めることは、極めて難しいと考えております。まずは現在残されている石垣等の調査・保全を優先的に取り組みます。</p>
22	<p>全国との多様なつながりの拡大にある移住・定住の促進について、徳島に住んでいると信じられないだろうが、全国には運転免許を持たない人も多い。移住・定住にはやはり公共交通の拡充も必要である。</p>	<p>ご指摘のとおり、移住検討者の中には自動車の運転免許を持っていない方も多く、公共交通の重要性は認識しています。</p> <p>移住検討者には、交通に関する情報提供を行うとともに、ライフスタイルに合わせた居住地の提案を行い、移住・定住につなげてまいります。</p>
23	<p>道路の緑化推進の項目が必要であり、橋梁長寿命化に伴い景観や地域特性に配慮した欄干への更新も必要である。また、電柱地中化推進も災害対応の視点から必要である。</p>	<p>多くの人々が利用する道路を中心に、安全性や維持管理コストを考慮しつつ、植栽等の在り方を検討しながら緑化の推進に努めてまいります。</p> <p>長寿命化対策が必要と判断された橋りょうには、維持管理コストを考慮しつつ、景観等へも配慮した対策を検討して参ります。</p> <p>防災・安全・景観等の観点から、無電柱化の必要性が認められる市道については、事業の検討をしてまいります。</p>

No	意見の概要	市の考え方
24	<p>住環境整備について、中心市街地の青空パーキング化の抑制が必要で、土地の流動化の加速も大事である。</p>	<p>ご指摘のとおり、中心市街地において、青空パーキングなどの低未利用地が増加している現状は問題であると認識しております。</p> <p>本計画の施策01「コンパクトで機能的なまちづくり」に位置付けている徳島市中心市街地活性化基本計画では、ランドマーク施設など集客の核となる施設整備や楽しみながら回遊できるまちづくりなど進めることとしており、今後、これらの取り組みにより、まちなか歩行者通行量や居住者の増加を図り、新たな人の流れ生み出していくことで、土地の有効活用にもつながるよう施策を進めてまいりたいと考えています。</p>
25	<p>子ども・子育て支援の充実について、2人目、3人目の子育て世帯への手厚い支援をお願いしたい。</p>	<p>子育てに伴う経済的負担の軽減、子育てと仕事や社会活動の両立支援として、多子世帯に係る保育料の負担軽減や、学童保育利用料軽減など、取組をすすめております。</p> <p>引き続き、子育て支援の充実が図られるよう努めてまいります。</p>
26	<p>子育て世代の服や玩具、ベビーカー等のリサイクル推進を盛り込むべきである。また、公共施設でのベビーカー総点検（動物園のは老朽化して汚い）と更新・改善を行うべきである。</p>	<p>本市では、ごみ減量化や資源の有効活用を図るため、株式会社メルカリ、株式会社マーケットエンタープライズ及び株式会社ジモティーと連携協定を締結し、リユースを推進しています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、持続可能な循環型社会への転換を推進していく上での参考とさせていただきます。</p> <p>なお、とくしま動物園につきましては、現在、ベビーカーは5台（令和6年4月導入）運用しております。</p>

No	意見の概要	市の考え方
27	<p>店舗や飲食店でのベビーチェア設置情報や離乳食等持ち込み可能かなどの情報開示がありがたい。</p>	<p>多数の市内店舗について、市が一元的に情報を集約し、かつ日々更新していくことは難しいと考えております。</p> <p>なお、おむつ替えスペースや授乳スペースを備えた公共施設や民間店舗施設を徳島市が認定する「赤ちゃんの駅」を実施し、市ホームページや子育てガイドブック「さんぽ」で広く公表しておりますのでご活用ください。</p>
28	<p>県の「とくしまユニバーサルデザイン基本指針」はまだまだ子育て世代への視点や配慮が欠けている。市独自の子育て支援を重視した条例を県内で先駆けて設けるべき。</p>	<p>徳島市では、障害の有無や年齢、性別などにかかわらず、すべての人が暮らしやすい社会の実現を目指し、県からの事務の移譲を受けて、平成19年10月より「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、特定生活関連施設（不特定かつ多数の者が利用する一定規模以上の社会福祉施設・医療施設・娯楽施設等）の整備基準への適合について指導又は助言を行っているところです。</p> <p>いただいたご意見について徳島県と共有し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
29	<p>中央公園にかつてあった県立光慶図書館を復元し、子どもに特化した子ども図書館を設けるべき。</p>	<p>光慶図書館の復元については、「史跡徳島城跡」内であり史跡保護の観点から現状変更を伴う開発が制限されています。</p> <p>なお、徳島市立図書館は、中央公園から比較的近く、市街地中心部にあるアミコビル内に平成24年から移転しており、利用者にとって交通の利便性がよい場所に立地しております。</p> <p>また、6階の一般室とは別に、5階を子ども室として設け、子ども向けの環境づくりやイベントを多数行うなど、子どもに特化したフロアとして利用していただいているところでございます。</p>

No	意見の概要	市の考え方
30	文化芸術に親しむ環境づくりについて、歴史文化の視点も入れるべき。	本市では、様々な文化芸術に親しむ環境づくりを推進する中で、市内の小・中学生に阿波人形浄瑠璃やオペラなどを鑑賞できる機会を設けるとともに、その歴史について説明を行うなど、歴史文化に触れる機会を提供しております。
31	徳島市立美術館や江戸時代以外の徳島市の歴史を学べる徳島市歴史資料館を創設すべき。	徳島市内にある既存施設を活用し、徳島市の歴史を学べる機会の創出に努めます。
32	とくしまガラススタジオを街の中心へ移転すべき。	「とくしまガラススタジオ」では、アミコビル内にある「シビックセンター」と連携し、トンボ玉教室の出張講座や、ガラス工芸体験、ガラス作品展などを開催し、市の中心部においても市民の皆様にご覧いただく機会を提供しております。いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます。
33	中央公園内の機関車は貴重であるのに今の位置では目立たない。駅前再開発に合わせ、駅前広場が駅北に移転し、客車を増設して大牟田駅のようにカフェを誘致してはどうか。	「徳島駅周辺まちづくり計画」では、人々が歩いて楽しみ、滞留や交流が生まれる居心地よい公共空間を整備していきたいと考えております。 徳島駅周辺で新たなにぎわいを創出し、都市の活力を高めていくためには、官民が連携して、まちづくりを進めることが大切だと考えているため、徳島駅周辺の整備を具体的に検討する際には、いただきましたご意見を参考とさせていただきます。
34	プロスポーツ応援に親しむ機会の充実について、その実現のため市立体育館のアーリーナ化と改築を行うとともに、蔵本球場を鳴門と同様に改築してはどうか。また、入田の球技場を廃止し、まちなか球技場の開設、田宮の陸上競技場の移設及び改築を行ってはどうか。	本市は、プロスポーツ応援に親しむ機会の充実を図るため、市民の皆様に対し、地元プロスポーツチームのホームゲームの無料招待や優待料金にて観戦する機会を提供しております。 なお、体育施設につきましては、適切な維持管理・改修等を行い、プロスポーツを応援するための環境整備に努めています。いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます。

No	意見の概要	市の考え方
35	<p>文化財に親しむ機会の充実について、市民のみならず県や県民や民間企業の機運も熟成させ、徳島城の復元に本気で取り組むべき。</p>	<p>徳島城の復元については、文化庁の許可が必要であり、写真・図面等の復元根拠資料がほぼ残されていない徳島城では、現段階で建物復元を行うことは極めて難しいと考えております。まずは現在残されている石垣等の調査・保全を優先的に進めています。</p>
36	<p>栗林園や岡山後楽園に匹敵するといわれた徳島城西の丸庭園や大谷紅葉山御殿の本格調査を実施すべき。</p>	<p>徳島城西の丸庭園については、史跡指定範囲内にあり遺構が保護されていることから、現段階で新たな発掘調査の必要はないと考えております。</p> <p>紅葉山御殿は周知の埋蔵文化財包蔵地であり、開発工事に伴う調査等の対応を行っております。</p>